

(1)

8.27
九里祭
「ますむらひろしの世界」

ヒデヨシには 力ではたどりつけない 自由がある

2年 松尾 美香

.....今年の九里祭の展示は、ますむらさんとのインタビュー、インターネットを使ったものなど、多方面から資料をあつめ、今までとは少し違ったものになりました。この準備から九里祭までを報告します。.....



九里学園高等学校
図書委員会
印刷(株)川島印刷
TEL 21-5511(代)

今年の九里祭のテーマは、「ますむらひろしの世界」でした。ますむらさんは、「デブ猫の『ヒデヨシ』」をキャラクターとしている、米沢出身のマンガ家です。偶然にもこの米沢で、初の原画展が開かれるということで、とてもタイミングな企画となりました。

ますむらさんの作品は四十冊程あります。私達はまず、それを読むことから始めました。食欲だけで生きていて、他人の迷惑を一切考えないヒデヨシ、でも、一番大切な「子供心」をもつていて、どこか切なくかわいいのです。幸運なことに原画展の初日、私達は、ますむらさんにインタビューすることが出来ました。米沢へのこだわりや、ますむらさんの目指している

ものに少しですが触れたような気がします。

今回は、インターネットを活用し、ますむらさんから、そして九州のファンからも、たくさんのメッセージをもらいました。

また、九里祭に来て下さった方から、感想なども載き、私達は一瞬、日本の中の九里学園を意識してしまいました。

当日は、等身大のヒデヨシとテンプラが見守るなか、某先生が「濃い」と形容した空間が出来上りました。



ンタビュー記事、プロフィールなどがならびました。たくさん的人が熱心に見て下さい、猫の目時計の音で子供が怖がるハプニングもあり、大盛況でした。

あの充実した日々をふりかえりながら、静かにますむらさんの魅力を考えると、彼のキャラクターには、力ではたどりつけない自由な世界への



図書館だより

2000.12.20

(2)

見終ることが出来ず常設展示
心でした。ここでは時間内に
「仙台文学館」は仙台にゆ
かりのある文学者の展示が中
心でした。この交流会は委員
長で向かつたのが佐沼高校
です。この高校は創立が我校
と同じで来年百周年を迎える
そうです。私達は大勢の図書
委員にあたたかく出むかえら
れました。とても同年代とは
思えない感じの男子の司会で
場がパツと明るくなりました。



温かく
歓迎して
くれた

(宮城県立)

研修旅行
佐沼高校

3-4
藤崎智

で精一杯でした。
次に向かつたのが佐沼高校
です。この高校は創立が我校
と同じで来年百周年を迎える
そうです。私達は大勢の図書
委員にあたたかく出むかえら
れました。とても同年代とは
思えない感じの男子の司会で
場がパツと明るくなりました。
グループ毎に話を
したのですがほとん
どのグループがいろ
んな話で盛り上がつ
ていました。その後
館内を見学、私達が
一番気にいつたのは、
図書館の他に学習室
があることです。ま
た、コンピューター
で検索貸出しが出来、
図書情報も県立図書
館とつながっている
のですぐ出せるとい
うことでした。

図書委員会の行事
として、我校と同じ
く百人一首というの
がありました。

研修旅行は本の購
入を兼ねて仙台の方
へいくということで
す。参考書市をして
いるところが進学校
らしいと思いました。

この交流会は委員

仏像の見方を図書委員の松尾さん解説

私達図書委員会では七月に
研修旅行に行つきました。
目的は、佐沼高校との交流と
「仙台文学館」、奥州の文化に
触れるごとでした。ここでは時間内に
見終ることが出来ず常設展示

研究旅行の二日目の朝、私
達は宿泊した毛越寺の庭を散
策しました。この庭園は、平
安時代奥州藤原氏の三代目秀
衡によつて完成されたもので
す。庭園は朝もやにつつまれ、
幻想的な雰囲気をかもしだし
ていました。

夢館は、百七体のロウ人形
を使い、前九年の役や平泉炎
上など三十の場面によつて、
藤原氏と平泉文化を紹介して
います。ロウ人形はとてもリ
アルで、私達は本当の人間か
と思つたくらいです。

中尊寺は、慈覚大師が創建
し、藤原清衡が二十二年の歳
月をかけて建立した大寺院で
す。現在残つているのは金色
堂と経蔵だけです。入口の月

見坂という長い坂の下にあ
ります。この交流会は委員



平泉

以外もたくさん
参加していると
のことでした。
心から人を歓迎
するとはこうい
うことなのだと
思い、豊かな気
持ちになりました

地区図書委員研修会 9月20日 於米中央

他校の図書委員は みんな立派に見えました

九月二十日に米沢中央高校
で置賜地区の図書委員研修会
が行されました。

今回は「読んでもらいたい

二十世紀の本」というテーマ

私が参加した「勇気の出る
本」という班では、みんな本
の中味をジャケットや帯に表
わすために工夫をこらしてい
た。

PRでは、今話題の「ハリ
ー・ポッターと賢者の石」と
いう本を選んだ人は、邪悪な
力と戦うハリーが私を勇気づ
けてくれると言つていまし
た。また、「千年の風」とい
う詩集から励まされた人もい
ました。他にも、「ぼくは勉強
ができない」という本で「遊
べ! つまらない男になるな
!!」とおもしろいキャッチコ
ピーを書いた人もいました。

私は緊張しながらの参加の
知つてゐる二年生の図書委員
がいて彼女の解説は、学芸委
員もびっくりする程詳しくわ
かりやすかつたと評判になり
ました。(三年 菊地博子)



中尊寺では、仏像の見方を
教えていた。平泉では他に、
無量光院跡・高館にも行つて
きました。

私は緊張しながらの参加の
知つてゐる二年生の図書委員
がいて彼女の解説は、学芸委
員もびっくりする程詳しくわ
かりやすかつたと評判になり
ました。(三年 菊地博子)

「私の好きな主人公」

「ノルウェイの森」の主人公 ワタナベ

2-6 原川 美保

「ワタナベのどこが好きか」というと、ものの見方や考え方だ。見た目はパツとしないが、じっくり話をすると面白い話が聞けそうだ。

その場限りの華やかさや何でも分かつたフリをして主張する奴らに彼は屈しようとしないのだ。大学教育は無意味だと考え、町の喧噪を見てこの光景は空虚だと感じる彼の孤独がいい。

彼を取り巻く環境は複雑である。十七歳の時に亡くなつた親友のキズキ、そして恋人の直子からワタナベは、「死は生の対極としてではなく、その一部として存在していふことを学んだ。この世界に空虚感を感じても、ワタナベはキズキとちがつて生きることに決めた。彼はそんな強さを持っている。

ワタナベにとって、直子は鮮明にうつっていた。彼女はいなくなってしまったけれど、彼女はとても尊く思えるのだ。

彼の孤独がいい と感じる

「ワタナベのどこが好きか」というと、ものの見方や考え方だ。見た目はパツとしないが、じっくり話をすると面白い話が聞けそうだ。

その場限りの華やかさや何でも分かつたフリをして主張する奴らに彼は屈しようとしないのだ。大学教育は無意味だと考え、町の喧噪を見てこの光景は空虚だと感じる彼の孤独がいい。

彼を取り巻く環境は複雑である。十七歳の時に亡くなつた親友のキズキ、そして恋人の直子からワタナベは、「死は生の対極としてではなく、その一部として存在していふことを学んだ。この世界に空虚感を感じても、ワタナベはキズキとちがつて生きることに決めた。彼はそんな強さを持っている。

「ワタナベは、何か良い方向に物事を進めたり、大業を成し遂げたわけではないけれど、彼がそいつに感じていたことや想いは、私には

ど、彼は約束したのだ。「直子が存在したことを感じている」ということを。ワタナベは、この約束を忘れないため文章を書き綴っている。私もその時は、「絶対に忘れない」と思っても、忘れてしまう。自分の身に起こった事、話した言葉、感じた想い。どんな大事な想いであつたとしても。だから人は、文章という形で書き残そうとするのである。そしてワタナベの気持ちが分かるような気がする。書きたいと思つても、それがあまりにもくつきりしそぎていて、どこから手をつけいいか分からない感覚が私にもあることを。

三校合同読書会 11月4日 於 米工
十一月四日、米沢工業高校を会場に、「いじめたやつをやりかえす」など、各校から多種多様な意見が出されました。この質問は、特に、衝撃的な内容の意見が多かつたです。

前者に対する答えとしては「登校拒否する、転校する」「いじめたやつをやりかえす」など、各校から多種多様な意見が出されました。この質問は、特に、衝撃的な内容の意見が多かつたです。

他人の人生の事とはいえないが著者が大平浩三郎氏に出でる。その当番校である米沢工業高校で大平光代著「だからあなたも生きぬいて」で、今回この本になりました。

テキストとなつたのは、今話題になつてゐる大平光代著「だからあなたも生きぬいて」で、今回この本になりました。

自伝的エッセイを討論するということで、一部の人からやりにくいといふ意見も出たのですが、いざ当日を迎えると他校に比べ九里生の読破率は非常に高く、他校で本を読んでこなかつた人に本校生徒が本の内容を説明しながらグループ討論を進めていた班もあり、とてもよかったです。

その討論会の中でも特に多くの意見が出た設問は、「陰湿ないじめに耐えきれず、自殺を計つた作者。あなたたつたらどうすると思いますか?」というものや「だからあなたも生きぬいて」の

「町の喧噪が空虚だ」

けんそう

くうきよ

だ



2000.12.20

(4)

小嶋俊之先生の巻

確かに高校一年生の頃だったと思う。「美と芸術の理論」という本を読んだ。岩波文庫の薄い本で、著者はシラーだつたか、カントだつたか、すでに記憶にない。中学時代の恩師の家に遊びに行つたときに、少々得意になつて、その本をカバンから出してみせた。先生は開口一番、おまえにはまだ分からぬだらうというような意味のことを言われた。悔しかつたが、よく考へてみるとわかつたつもりでいるだけで、本当に理解していない自分に気がついた。そんなことが何度かあつた。それから「乱読」が始まつた。知りたいことがあると、本屋からそのテーマに関連する本を何冊か買つたり、図書館から探して借りて帰る。文学、哲学、芸術方面が好きで、文

読書の楽しみ

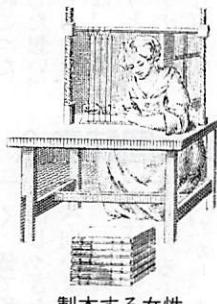


電車の中では必ず一冊持っていた

いつ、誰が… 書物の不思議 <その8>

最初に出来たゴシック体

製本・さし絵



製本する女性

一、四五〇年、グーテンベルクが印刷機を考案してからその技術は、急速にヨーロッパ全土に広まりました。一字ずつの活字を組み合わせるため、字は一つ一つデザインされました。こうして最初に出来た形がゴシック体です。

印刷した紙は、一〇ページ分ぐらいを折つてその背を糸でかがつてつなぎ合わせる工夫がされました。また、厚紙の表紙をつけることによつてページが何回めくられても耐えられる丈夫なものになりました。

一、九〇〇年頃木版画のさし絵が入り、色が付けられ、本は多くの人々を魅了していました。

編集後記

今回の図書館だよりは、余裕をもって始めたはずが、なぜかバタバタしてしまいました。編集作業に慣れていない人が多かったためです。

今回は、20世紀最後の図書館だよりになります。みなさんどうぞ、隅々までごらんになって下さい。
(山水記)

意外！――一年の女子

今回「調べ物をする時何を使っているか」というアンケートをとつてインターネットの活用を調べてみようということになりました。

インターネットが世に出でもう結構な時間がたつていま

きの興味にまかせて手に取ることもできれば、何種類かの本から得た知識を組み合わせて、自分の頭の中に世界観のようなものを構築することもできる。本は楽しい。

かるのだとそうです。そしてこの回答している人のほとんどが調べ物をする時は本で調べているそうです。正論なのでですが。やはりお金と使い慣れてないということでなかなか浸透していないようです。

インターネット愛好者の私が見ると少々意外な結果でした。

図書館のパソコンを使って

課題研究に役立たせてみてはいかがでしょう。そして今必要としている情報を調べれば

しだいに慣れると思います。本よりもずっと早く情報を得られることもあり、そうでなくともいづれ便利だと気付くはずです。(二年 伊藤大輔)

